

面積:94,322平方キロ
 (日本の本州の約2/5)(全米50州中38位)
 人口:6,785,528人(2020年国勢調査)(全米17位)
 (白人77.2%, 黒人9.6%, ヒスパニック8.2%, アジア2.5%)
 (2020年国勢調査)
 州都: Indianapolis 愛称: Hoosier State

政 治

【州政治】

1. 知事:エリック・ホルコム (Eric Holcomb)(共)
 2017年1月就任, 現在2期目

2. 議会構成:二院制
 上院議席数 50 民主党11 共和党39
 下院議席数100 民主党29 共和党71

3. 内政状況:

インディアナ州は社会的保守傾向が強く、伝統的に共和党が強い。1900年来大統領選挙で民主党候補が選出されたのは5回のみ。

ペンス前副大統領は、2013年から2017年まで州知事、2001年から2013年までは同州選出の連邦下院議員であった。2015年、当時のペンス知事の信教の回復法が同性愛者差別を助長するとして全米の大批判を呼び、同州の保守性を知らしめた。

ホルコム知事は、2016年3月からペンス知事の下で副知事を務めた後に2016年選挙で知事に当選。

2021年非常事態宣言の発令を含む新型コロナウイルス関連規制における知事の権力を巡り、ホルコム知事は共和党が過半数の州議会及び州司法長官と対立し、訴訟継続中。

2012年から2019年末までサウスベンド市(ノートルダム大学所在)市長を務めていたブディジャッジ市長(民)が、2020年選挙に民主党大統領候補として出馬、その後撤退するも、バイデン政権下で運輸長官となり、米国初のLGBTQの閣僚となった。

【連邦政治】

1. 大統領選挙人数:11名
2. 2020年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率57.1%)
3. 連邦上院議員
マイク・ブローン(Mike Braun)(共)
Todd・ヤング(Todd Young)(共)
4. 連邦下院議員(議席数9名)
民主党2名 共和党7名

インディアナ州概要



令和4年5月現在
在シカゴ総領事館

経 済

【州経済】

1. 主要産業
農業:穀物(トウモロコシ, 大豆), 豚肉
工業:鉄鋼, 自動車
2. GDP:3,526億ドル(2021年)
3. 1人当たり個人所得:56,153ドル(2021年)
4. 失業率: 2.2% (2022年3月)
5. 輸出額:41,140百万ドル(2021年)
6. 輸出品目:輸送用機器, 化学製品, 一般機械, 電算電子機器、電子機器
7. 輸出相手国(2021年):
カナダ(32%), メキシコ(13%), 中国(8%), ドイツ(6%), 日本(5%)
8. 財政:(2019年度)(出典:U.S. Census Bureau)
歳入:46,530百万ドル
歳出:43,298百万ドル
債務残高:22,436百万ドル
9. 経済状況

インディアナ州は、「アメリカの十字路」と呼ばれる水陸交通の要所。多くの製造業が進出し、労働人口の約3割が製造業。特に、鉄鋼や自動車関連(ホンダ、トヨタ、スバル等)が強く、周辺州の自動車産業にも原材料を供給している。また、農業も盛んで、トウモロコシ、大豆、豚肉等の生産量が多い。1人当たりの日本からの投資額はインディアナ州が全米で最大。

【対日経済】

1. 対日輸入額:5,877百万ドル(2021年)
2. 主要輸入品目:輸送用機器, 一般機械, 電算電子機器、加工金属製品
3. 対日輸出額:2,082百万ドル(2021年)
4. 主要輸出品目:化学製品, その他製造品, 加工食品一般機械, 輸送用機器
5. 日系企業の進出数／雇用数:336事業所／7万37人(2021年)ホンダ、トヨタ、スバルが操業。
6. 州駐日事務所あり(東京都)

日本との関係

【要人往来】

(往)05年7月, 06年6月及び10年11月、ダニエルズ知事が貿易投資代表団を率いて訪日。14年6月、エルスパーマン副知事が農業貿易代表団を率いて訪日。

また、日米中西部会出席のため、知事または副知事が訪日(07年9月及び09年9月ダニエルズ知事、11年9月スキルマン副知事、13年9月及び15年9月ペンス知事、17年9月及び19年9月ホルコム知事)。

(来)07年5月、山本経産副大臣が来訪。18年8月、世耕経産大臣、19年11月宇留賀群馬県副知事が来訪。

【文化、広報関係】

インディアナ日米協会が活発に活動(1988年創設)。

インディアナポリス美術館は江戸時代の日本美術を中心としたコレクションを所持していることで有名。

フォートウェイン市では、毎年5月に1万人規模の桜祭りを開催。

日米桜寄贈100周年記念事業では、インディアナポリス市に苗木を寄贈。インディアナ大学ブルーミントン校東アジア研究センターを筆頭に、州内各都市で日本語教育・日本研究が行われている。

【在留邦人数(2021年10月1日現在)】

6,191人

【日本人学校・補習校数】

補習校5校(インディアナポリス、エバンスビル、フォートウェイン、ニューアルバニー、ブルーミントン)

【姉妹州県・都市関係(14)】

栃木県—インディアナ州
 久慈市(岩手県)—フランクリン
 多治見市(岐阜県)—テラ・ホート
 塩尻市(長野県)—ミシャワカ
 高岡市(富山県)—フォートウェイン
 静岡市(旧蒲原町)(静岡県)—シェルビービル
 角田市(宮城県)—グリーンフィールド
 太田市(群馬県)—ラフィエット・西ラフィエット・ディピカヌー
 河内長野市(大阪府)—カーメル
 みよし市(愛知県)—コロンバス
 栃木市(栃木県)—エバンスビル
 田原市(愛知県)—プリンストン市・ギブソン郡
 雲南市(島根県)—リッチモンド
 茂木町(栃木県)—スピードウェイ

【名誉領事】

ピーター・A・モース・Jr(インディアナポリス)